

宇都宮市DX実現タスク

Digital transformation

概要版

令和5年（2023年）2月

「DX実現タスク」の位置づけ

- 本タスクは、国の『自治体DX推進計画』に基づいて、地方公共団体が地域のDX実現に向けて策定する「全体方針（ビジョン・工程表）」のうち、本市のDXの取組を総合的かつ効果的に実施していくための「工程表」に位置づけられるものです
- 本タスクの策定にあたっては、特に、地方自治体として取り組むべき事項が明示された「自治体DX推進計画」「デジタル・ガバメント実行計画」「デジタル田園都市国家構想」の内容を踏まえるとともに、「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」を通じて、本市の将来像を描いた『第6次宇都宮市総合計画（後期基本計画）』との整合を図ります



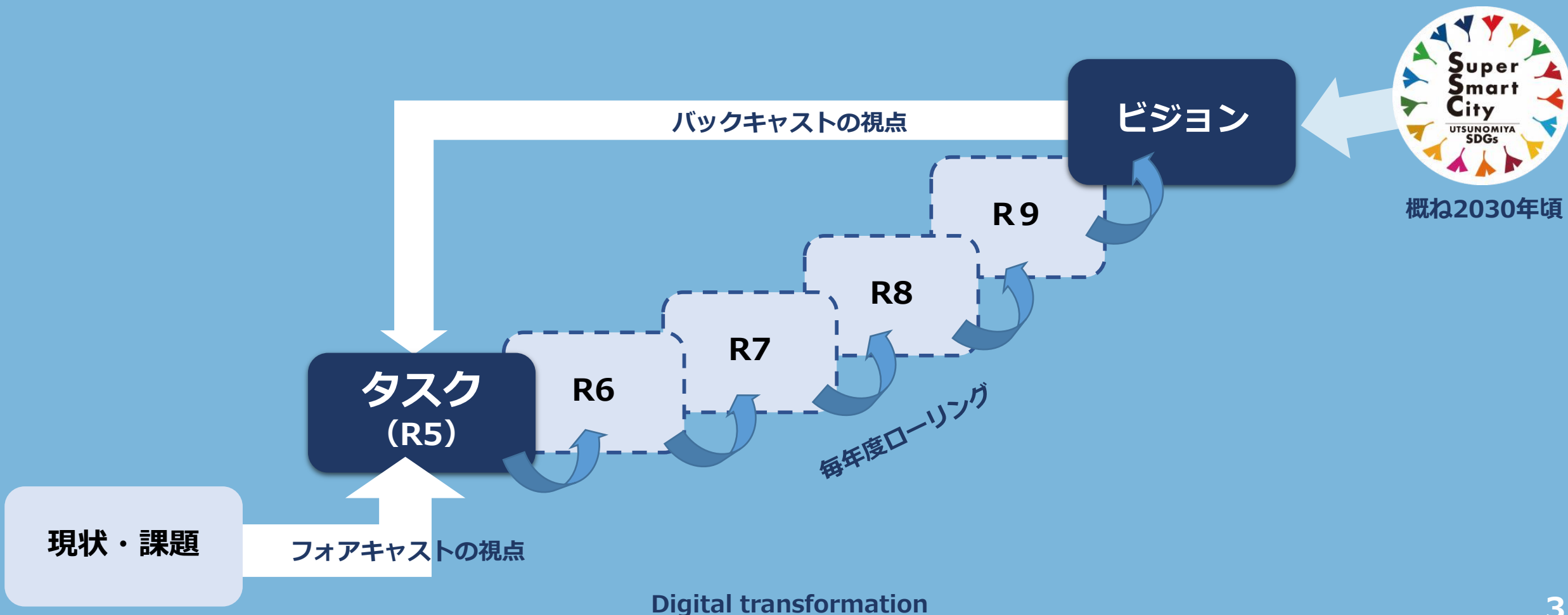
「DX実現タスク」の目的

- 本タスクは、これまでの「計画的なICT利活用の促進」の観点から大きく転換し、既成概念の打破や新たな価値の創造を伴う「DX（デジタル・トランスフォーメーション）の実現」に向けた取組を戦略的に推進するために策定するものです
- 本タスクに沿ったDXの取組の推進により、本市職員の認識・意識・考え方・行動や、組織文化が根本的に変わることを目指します







「DX実現タスク」の特徴

- 現状・課題を踏まえた「フォアキャストの視点」を踏まえたDXを実現
- ビジョンの達成に向けた「バックキャストの視点」から新たな取組を推進
- 日々進展するデジタル技術を採用するために毎年度ローリング



重点取組事項

サービス、手続・業務、人、環境のすべての要素におけるDXの実現

	市民視点 (サービスデザインは市民視点で！)	行政視点 (前例にとらわれず、柔軟・迅速に！)
サービス	① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 (※) <small>「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します</small>	
	 地域共生社会	 地域経済循環社会
		 脱炭素社会
		 NCC
	※地域団体・事業者を対象とした支援も含む	
手続・業務	② スマート窓口の実現 すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口を実現します	⑤ 業務のデジタル変革 紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用によりデジタルを前提とした業務の在り方への大転換を図ります
人	③ デジタル格差対策・デジタル人材育成 市民がデジタルリテラシーを身に付け、デジタルを活用できるようにすることや、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします	⑥ 庁内DX人材の育成・確保 全職員のデジタルリテラシーを底上げし、専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します
環境	④ デジタル社会基盤の強化 マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境など、ハード・ソフトのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします	⑦ スマートワークの実現 執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用して、いつでも・どこでも職員的能力が最大限に発揮される環境を整備します



重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域共生社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

K P I : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合

R4 46.8%	⇒	R9 66.0%
-------------	---	-------------

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

ビジョン	R5施策・事業名（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
支え会える社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルを活用した検索システムによる認知症になっても安心して暮らせる環境整備 ● 「デジタル適応支援教室」による誰一人取り残さない教育の推進 ● SNSを活用したオンラインサロンの開設 ● 重層的支援体制におけるリモート会議の活用 <p>◎ オンライン空間を活用した新たな「居場所」づくり</p>					
		<p>実施</p> <p>オンライン空間を活用した施策事業の検討 → 実証⇒実装</p>				
健康で自分らしい生活ができる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「健康ポイント」を活用した「自然と健康になれるまちづくり」の推進 ● オンライン講座（健康講座等）の実施 ● 医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案 					
		<p>実施</p>				
誰もが時間の制約なくサービスを利用できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 市公式LINE「教えてミヤリー」によるAI自動応答サービスの提供 ● 子育て支援アプリによる母子健康保健サービスの提供 <p>◎ スマートフォンアプリ等による一元的にサービスを提供する仕組みの検討</p>					
		<p>アプリ統合の検討 → 統合型アプリの導入・運用</p> <p>→ アプリの順次集約</p> <p>→ ポイントの一元化も併せて検討</p>				
地域で学び活発に活動できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「うつのみやデジタルスクエア」を通じた地域団体の運営支援 ● スマートフォンアプリを活用したまちづくり活動応援事業 ● 魅力ある自治会づくり支援事業補助金 					
		<p>実施</p>				
デジタルに不慣れな人にも優しい社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援 ● 広報紙を活用したデジタルデバイド対策の推進 <p>◎ デジタル機器を操作しなくともデジタルの恩恵を受けられる環境づくり</p>					
		<p>実施</p> <p>高度な知識なくデジタルの恩恵を受けられる環境づくりの検討 → 実証⇒実装</p>				

重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域経済循環社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

K P I : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
R 4 4 6.8%	⇒	R 9 6 6.0%

ビジョン	R 5 施策・事業名 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
新たなイノベーション等を創出できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●イノベーション推進事業 ●新産業創出支援事業補助金 ◎地域経済の循環に資するデジタル地域通貨等の検討 	実施				
		デジタル地域通貨等のスキームの検討	実証⇒実装			
全ての事業者がDXを推進できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「うつのみやデジタルスクエア」による事業者への支援 ●労働生産性の向上に向けたデジタル化促進 ●ECサイトを活用した宇都宮産農産物PR・販路拡大促進 ●中小企業や農林業事業者のICT導入・活用に対する支援 ●中小企業等に対するデジタル活用セミナーの開催 ◎サブスクリプション型などのサービスの導入支援の検討 	実施				
		サブスクリプション等のサービス導入支援の検討	実証⇒実装			
来訪者等の利便性等が向上する社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルマーケティングによる誘客・周遊促進 ●観光拠点等におけるデジタルサイネージを活用した観光情報の発信 ●デジタルマップの活用による観光周遊促進 ◎オンライン空間を活用した戦略的観光の推進 	実施				
		オンライン空間を活用した施策の検討	実証⇒実装			
都市ブランドが高められる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●史跡等文化資源のVRによる再現・公開 ●歴史文化資源のデジタル化による再現・公開 ●先進技術を活用したスポーツイベントの映像配信 ◎文化芸術分野におけるデジタルツイン等の活用 	実施				
		デジタルツイン等を活用した施策事業の検討	実証⇒実装			

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

脱炭素社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

KPI : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合

R4 46.8%	⇒	R9 66.0%
-------------	---	-------------

ビジョン	R5 施策・事業名 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
再生可能エネルギーの導入と活用が進む社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内の再生可能エネルギーの利活用の推進 ● スポーツ施設等の脱炭素化に向けたデジタル技術の活用 ◎ 「エネルギーマネジメント」による再エネ利用の最適化 ◎ IoTを活用した分散型エネルギーの最適化 ◎ EVモビリティ等の導入支援 					
		<p>エネルギーの最適化やEVモビリティ等の導入に向けた各施策の検討</p> <p>実施</p> <p>実証⇒実装</p>				
エコで便利なライフスタイル等が定着する社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮行動の促進に向けたポイント事業 ● デジタル公文書の推進 (歴史公文書システム) ● SNSなどデジタルを活用した戦略的な広報 ● 電子図書館システムを活用した電子図書館の推進 ◎ スマートワーク・スマートオフィス化の推進 					
		<p>実施</p> <p>スマートワーク・スマートオフィスの実装</p>				

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

まちの基盤NCCに貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

K P I : デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
R 4 46.8%	⇒	R 9 66.0%

ビジョン	R 5 施策・事業名 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
誰もが円滑に移動できる交通環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● L R T 沿線まちづくりにおけるICT等の先進技術の活用 ● デジタルを活用したシェアサイクル等の実証実験 ● 交通ICカード「totra」のサービス拡大（路線バス、地域内交通） ◎ 公共交通における自動運転技術の実装に向けた環境づくり 	実施				
		自動運転技術の実装に向けた支援施策等の検討		実証⇒実装		
市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通結節点におけるデジタルサイネージ等を活用した効果的な情報発信 ● 観光拠点や交通結節点へのWi-Fi環境の整備 	実施				
安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● リモートセンシング技術を活用したまちづくりの推進 ● 上下水道の効率的な維持管理に向けたAI技術等の活用 ● 溢水被害等への遠隔監視システムの導入・導入支援 ● 災害やインフラ等の保守点検へのドローンの活用 ◎ 人工衛星等を活用したインフラの管理 ◎ AIカメラ等を活用した安全・安心なまちづくりに向けた実証 ◎ デジタルツイン（3D都市モデル）を活用した防災シミュレーション 	実施				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口衛星等を活用したインフラ管理の検討 ・ AIカメラやデジタルツイン等の活用に係る各施策のスキームの検討 		実証⇒実装		

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ②スマート窓口の実現

すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続きが完結する窓口を実現します

■ KPI

行政手続オンライン化数
(規制のない手続)



	取組内容 (毎年度ローリング)	R5	R6	R7	R8	R9
行政手続オンライン化の加速	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>マイナポータル・電子申請共通システムによる行政手続のオンライン化</u> ● 行政手続の規制 (押印・書面・対面) の見直しの推進 ● 市税等の各種公金のオンライン納付 ● 新たな公共施設予約・案内システムの導入 	<div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">全行政手続のオンライン化推進</div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px;">優先的にオンライン化すべき手続への対応</div> <div style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">規制見直し・業務見直し</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">オンライン決済化</div> <div style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 5px;">基幹系システム等とのエンドツーエンド接続</div> </div>				
窓口サービスのDX推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 書かない窓口システムの導入 ● 窓口での大型モニター・タブレット端末等による情報提供 ● 混雑状況緩和に向けた情報提供・案内システムの導入 ● 行政窓口におけるキャッシュレスサービスの拡充 ● 多言語翻訳サービスの提供 	<div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">窓口へのデジタルツールの導入推進</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">デジタルツールの導入</div> <div style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 5px;">書かない窓口の基幹系システム接続</div> </div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">窓口レイアウトの見直し</div>				

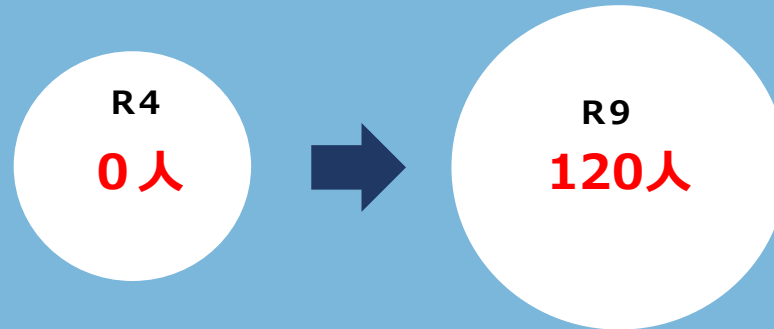
● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ③デジタルデバイド対策・デジタル人材育成

市民がデジタルリテラシーを身に付け、デジタルを活用できるようにし、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします

■ KPI

宮デジサポーター養成人数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
市民のデジタルリテラシー向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に対する情報セキュリティの周知・啓発 ●「うつのみやデジタルスクエア」を通じたデジタルリテラシーの啓発 ●デジタルスキル習得を通じた就労支援 ●GIGAスクールの推進 					
		実施				
デジタルデバイド対策	<ul style="list-style-type: none"> ●「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援〈再掲〉 ●広報紙などを活用したデジタルデバイド対策〈再掲〉 ●デジタルデバイド対策にかかる各種講座等の開催 					
		実施				

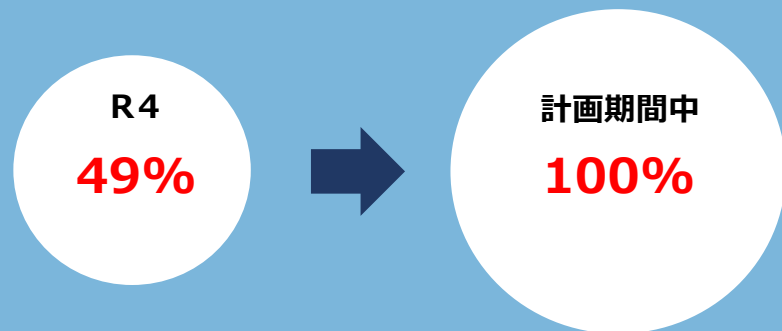
●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

重点取組事項 ④デジタル社会基盤の強化

マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境などのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします

■ KPI

マイナンバーカード普及率



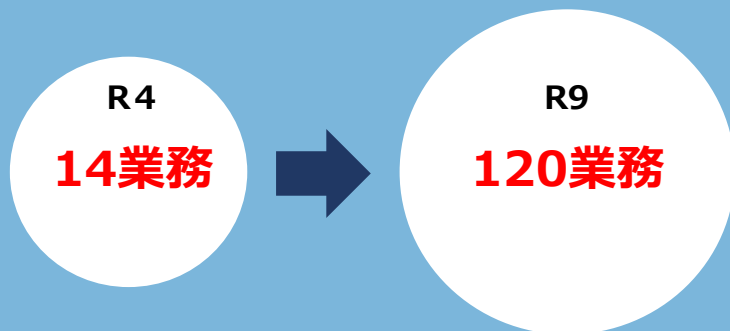
	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
デジタルインフラの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及促進 ●5G基地局整備にかかる市有施設等の貸出および受付 					
新たなデジタル活用基盤の構築	◎本市ポイント事業の一元化の検討（デジタル地域通貨を含める）					

●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

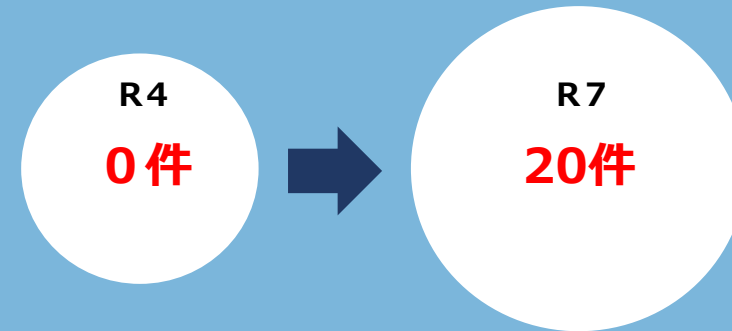
重点取組事項 ⑤業務のデジタル変革

紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用により、デジタルを前提とした業務の在り方への転換を図ります

■ KPI
AI/RPA
活用業務数



■ KPI
標準化共通化
対応システム数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
業務におけるデジタルツールの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● AIを活用した業務効率化の推進 ● RPAの導入を通じた業務プロセス改善の推進 ● 共通事務を効率化するデジタルツールの活用促進 ● ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 	AI・RPA等の利活用推進				
		ノーコード・ローコードツールの導入・運用		新たな共通事務会改善ツールを順次、導入		
情報システムの最適化・クラウド化	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体情報システムのシステム標準化・共通化・クラウド化 ● クラウド型業務システムの活用 	システム標準化・共通化				
		国が示す標準仕様書への適合				
		ガバクラへの移行検討				

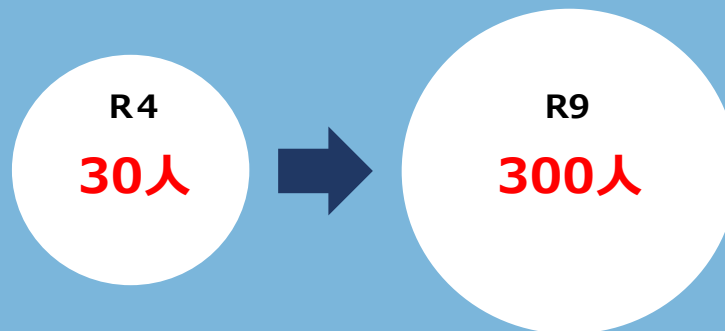
● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

重点取組事項 ⑥庁内DX人材の育成・確保

全職員のデジタルリテラシーを底上げし、
専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します

■ KPI

ローコード・ノーコード開発
ができる職員数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
職員のDXリテラシー向上	<ul style="list-style-type: none"> ●DX推進部門におけるDX人材の発掘・育成 ●ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 ●全職員のデジタルリテラシーの底上げ ●情報セキュリティ対策の推進 		全職員のDX研修の実施			
			DX推進部門の人材発掘・育成			
外部デジタル専門家等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●CIO補佐官の任用 ●デジタル専門家などの外部ノウハウの積極的な活用 	CIO補佐官 試行任用	CIO補佐官の任用			

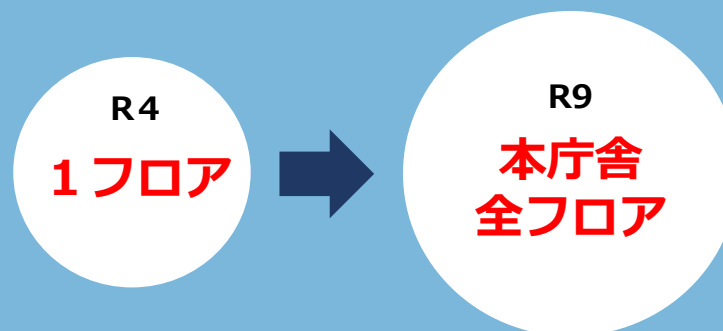
●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組

重点取組事項 ⑦スマートワークの実現

執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用することで、いつでも・どこでも職員の能力が最大限に発揮される環境を整備します

■ KPI

執務室改善着手フロア数



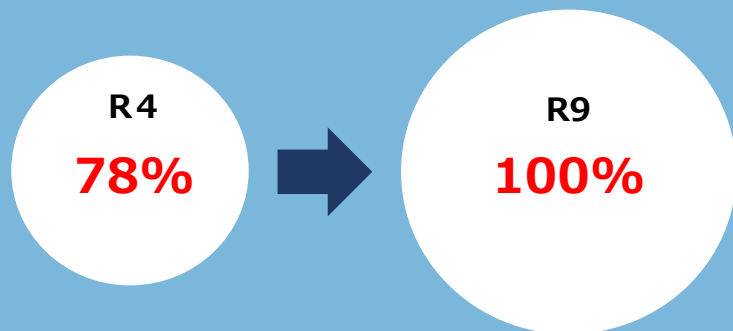
	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
スマートワークを実現するデジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内ネットワークの無線化と職員端末のモバイル化 ● テレワークの推進（遠隔会議・モバイルワーク含む） ● ビジネスチャットツールによる情報共有の円滑化 	無線化				
執務環境の抜本的な改善	● 効率的で多様なワークスタイルを実現する新しいオフィス環境の整備	全端末モバイル化				
		内部管理部門の環境整備				
		窓口部門のレイアウト等の検討	窓口部門の環境整備			

● : フォアキャストの取組, ○ : バックキャストの取組

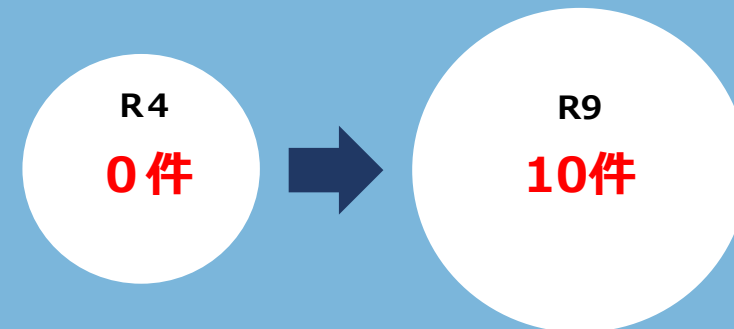
重点取組事項 ⑧データの利活用

さまざまなDX実現の取組から得られるデータを戦略的に「つくり」「整え」、有機的に「つなげる」ことで、行政・民間で共有し「使える」仕組みを構築します

■ KPI
国の推奨
データセット
公開割合



■ KPI
行政課題の解決
に資するデータ
を活用した伴走
型モデル事業数



	取組内容（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
データをつくる・つなげる・使う	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇都宮市版データアーキテクチャの構築に向けたモデルアーキテクチャの検討 ● オープンデータの利活用促進の強化 ● スマートシティ実現に向けた人流データ等の収集・分析・活用 ● 3D都市モデルの更新と利活用 ● 市政研究センターの機能強化 ● LRTの整備・運営に関するデータ分析 ● 医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案 ◎ AIカメラなどのセンシング技術を活用したデータ収集の拡充 	実施				
		AIカメラやセンシング技術等を活用したデータ収集手法の検討				
		実証⇒実装				

●：フォアキャストの取組，◎：バックキャストの取組